

# 第39回交通工学研究発表会 第1日目【2019年8月6日(火)】プログラム

発表11分、質疑11分 ○は発表者

## 《第1会場(3階131教室)》

1. 歩行者・自転車交通(1) 座長:小林 寛(国土技術政策総合研究所) 副座長:橋本 成仁(岡山大学)			
10.00	1	視覚障害者の誘導歩行のための「シェアリング型」盲導ロボット」の仕様検討	○崎山 賢人 内田 敬 松本 浩子 中央復建コンサルタンツ 大阪市立大学 大阪市立大学
10.23	2	ニュータウンの歩行環境が高齢者の身体的、精神的、社会的健康に与える影響に関する考察	○柳原 崇男 河原 大貴 近畿大学 五洋建設
10.46	3	生活道路の交差点周辺における歩行者通行位置の安全性評価	○長谷川 裕修 伊藤 菜 田村 亨 秋田工業高等専門学校 元:秋田工業高等専門学校 北海道立大学
11.09			
11.20	4	自動運転車の挙動と回避性能が歩行者の横断判断に与える影響分析	○可児 匠 井料 美帆 名古屋大学 名古屋大学
11.43	5	歩行者・自転車事故の個別的事象分析に基づく自動運転の事故軽減効果計測手法等の研究開発	○謝 振宇 星野 一輝 山本 俊雄 小嶋 文 久保田 尚 埼玉大学 埼玉大学 (公財)交通事故総合分析センター 埼玉大学 埼玉大学
12.06	6	安全性に着目したグリーンロードの導入可能性の検討 - 島根県大田市・石見銀山大森地区を例として - (実務論文)	○遠藤 寛之 森山 昌幸 松村 和典 藤原 章正 神田 佑亮 鈴木 祥弘 株式会社リード 株式会社リード 大田市役所 広島大学 呉工業高等専門学校 国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所
12.29			

## 《第2会場(3階134教室)》

5. 交通行動分析 座長:兵藤 哲朗(東京海洋大学) 副座長:吉田 樹(福島大学)			
	32	世帯構成の違いに着目した乳幼児を持つ女性の交通行動特性に関する研究	辰巳 浩 堤 香代子 吉城 秀治 奥田 菜月 ○奥村 友利愛 福岡大学 福岡大学 福岡大学 西日本高速道路株 福岡大学
	33	PT調査からみた若者と女性の交通行動の長期的変化に関する研究	○河野 誉史 穴水 俊太郎 森本 章倫 西日本旅客鉄道株 早稲田大学 早稲田大学
	34	PT調査データを用いた自転車利用実態の長期的変化に関する研究	○崎崎 琳太郎 森重 裕貴 森本 章倫 日本工営株 早稲田大学 早稲田大学
	35	自動車利用意識に及ぼす幼少期・青年期移動習慣などの要因間分析	○加藤 研二 阿南工業高等専門学校
	36	交通のシェアリングサービスと健康の相互関係に関する研究	○野口 大司郎 広瀬 和保 古明地 哲夫 森本 章倫 元:早稲田大学 早稲田大学 EM-アール・アイリサーチソシエティ株 早稲田大学
	37	大地震発生時の運転行動意識に関するインターネット調査 (実務論文)	○萩田 賢司 早川 敬一 高嶺 一男 科学警察研究所 株計画研究所 株計画研究所

## 《第3会場(4階141教室)》

9. 交通データの応用 座長:森川 高行(名古屋大学) 副座長:森尾 淳((一財)計量計画研究所)			
	63	ETC2.07ロープ情報を活用したボトルネック指数によるボトルネック把握手法の有効性検証	○中田 寛臣 松田 奈緒子 横地 和彦 田名部 淳 前川 友宏 国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所 株地域未来研究所 株地域未来研究所
	64	時空間交通状態のハターンマングによる速度コントラストの短期予測	○小倉 大輝 安田 昌平 井料 隆雅 向井 梨紗 神戸大学 神戸大学 神戸大学 阪神高速道路株
	65	観光地からの帰宅途中における追加的立ち寄りによる渋滞回避に関する実態分析	○栗 実平 青柳 西蔵 高橋 一貴 東洋大学 東洋大学 株ナビタイムジャパン
	66	Wi-Fiプローブデータを用いた散策型観光地における移動のハターン分析	○小野 瑞樹 寺部 慎太郎 柳沼 秀樹 田中 皓介 康 楠 元:東京理科大学 東京理科大学 東京理科大学 東京理科大学 東京理科大学
	67	プローブデータを活用した交通違反検知に関する研究	○小竹 輝幸 高木 知里 鎌田 佳希 株ナビタイムジャパン 株ナビタイムジャパン
	68	プローブデータを用いた都市高速道路における交通事故予測に関する研究	安藤 健 ○室町 泰徳 群馬県 東京工業大学

## 《第4会場(4階144教室)》

13. 交通運用・路面表示 座長:中村 英樹(名古屋大学) 副座長:河本 一郎(阪神高速道路株)			
	93	減速路面表示が走行速度の低下に及ぼす効果に関する実証分析 (実務論文)	○米村 圭一郎 甲斐 穂高 那 健 糸島 史浩 松本 猛秀 四辻 裕文 喜多 秀行 株片平新日本技研 株高速道路総合技術研究所 株高速道路総合技術研究所 株片平新日本技研 寒地土木研究所 神戸大学
	94	大深度地下高速道路のJCTにおける情報提供の課題に対するカー連携標示の適用	飯田 克弘 ○遠藤 大樹 多田 昌裕 蓮花 一己 山本 隆 大阪大学 大阪大学 近畿大学 帝塚山大学 中日高速道路株
	95	浜崎橋JCT渡り線における路面矢印の効果検証 (実務論文)	○相馬 嵐史 田畑 大 金子 太朗 乾 夏希 首都高速道路株 首都高速道路株 株オリエタルコンサルタンツ 株オリエタルコンサルタンツ
	96	ドライシミュレータを用いた高速道路サグ部における路面標示対策による速度回復評価	○永見 豊 武藤 秀一 原田 義実 拓殖大学 株ナクス東日本エンジニアリング 株ナクス東日本エンジニアリング 株プラスフォーデザイン
	97	名古屋高速道路の織込み区間における車線境界線の実線化による渋滞対策効果 (実務論文)	○水谷 明嗣 船本 真由 小原 拓也 渡部 敦樹 泉 典宏 名古屋高速道路公社 名古屋高速道路公社 株オリエタルコンサルタンツ 株オリエタルコンサルタンツ 株オリエタルコンサルタンツ
	98	都市間高速道路JCT分流部におけるチャンネル化の効果検証分析 (実務論文)	後藤 誠 鎌田 泰典 外山 敬祐 ○小宮 奈保子 清宮 広和 石田 貴志 東日本高速道路株 東日本高速道路株 東日本高速道路株 株ナクス東日本エンジニアリング 株道路計画

## 交通工学研究会活動報告セッション 於)第1会場

《第1会場》に於いて、交通工学研究会の研究活動や、新たに企画した「JSTEシンポジウム」についてご案内します。(司会進行:野中康弘研究委員長)  
交通工学研究会で公益事業の一環として実施している自主研究活動のうち、平成30年度末に終了した1件の基幹研究「平面交差の計画・設計・制御の研究」(代表:大口敬 東京大学教授)の成果について口頭報告します。  
また、当会で積極的に進めている官公庁、自治体、道路会社、民間企業、関連団体等との共同研究・受託研究については、小根山裕之研究企画小委員会委員長より、これまでの事例や実施に際しての手順等についてご案内します。  
さらに、今年12月に開催する「JSTEシンポジウム」の趣旨と内容については、中村英樹JSTEシンポジウム運営小委員会委員長よりご案内しますので、皆様奮ってご聴講ください。

2. 歩行者・自転車交通(2) 座長:蓮花 一己(帝塚山大学) 副座長:浪川 和太(警視庁)			
14.00	7	尼崎市における自発的一旦停止を促す「自転車マナーポイント」の開発及び実証実験の概要 (実務論文)〈デモ有り〉	○今田 大輔 長田 哲平 古池 弘隆 国際航業株 宇都宮大学 宇都宮協和大学
14.23	8	細街路での自転車走行指導帯整備による通行秩序化空間波及効果の分析	○山中 英生 中川 諒一郎 三國 成子 尾野 薫 岡野 玲奈 徳島大学 徳島大学 地球の友・金沢 徳島大学 姫路市役所
14.46	9	車道走行する自転車が自動車の走行挙動に及ぼす影響に関する研究 - 複数路線による比較検討を通じて -	○松本 太朗 辰巳 浩 吉城 秀治 堤 香代子 水尻 翼 福岡大学 福岡大学 福岡大学 福岡大学 福岡大学
15.09	10	自転車追い越し時の自動車走行速度に対向車および自転車までの距離が及ぼす影響	○水尻 翼 辰巳 浩 吉城 秀治 堤 香代子 吉川 雄貴 松本 太朗 福岡大学 福岡大学 福岡大学 福岡大学 福岡大学
15.32			

6. 交通需要 座長:内田 敬(大阪市立大学) 副座長:関本 義秀(東京大学)			
	38	データ指向型アプローチによる都市高速道路の需要変動モデル	○池田 賢史 安田 昌平 井料 隆雅 石原 雅晃 神戸大学 神戸大学 神戸大学 阪神高速道路株
	39	首都圏高速道路ネットワークにおける経路選択の実態分析	○鳥海 梓 井坪 慎二 山田 康右 田村 勇二 牧 佑奈 池田 裕二 元:国土技術政策総合研究所(現:東京大学) 国土技術政策総合研究所 パンフィクコンサルタンツ株 パンフィクコンサルタンツ株 元:国土技術政策総合研究所(現:九州建設コンサルタンツ株) 国土技術政策総合研究所
	40	高速道路の施策効果把握のための状態空間モデルの適用可能性に関する考察	○中西 雅一 前田 雅人 兒玉 崇 佐々木 邦明 株地域未来研究所 神戸市 阪神高速道路株 早稲田大学
	41	詳細な自動車属性で分類可能な自動車走行距離推計手法の検討	○加藤 秀樹 (公財)豊田都市交通研究所

10. 道路計画・道路構造 座長:横地 和彦(国土技術政策総合研究所) 副座長:神田 佑亮(呉工業高等専門学校)			
	69	南海トラフ地震により長期浸水した道路の復旧計画の検討 - 宿毛市を対象としたケーススタディ	○坂本 淳 高知大学
	70	巨大地震発生後の愛知県における現実性・効率性を考慮した道路復旧アルゴリズムの構築	○佐々木 啓太 藤田 素弘 Wisinee WISJETJINDAWAT 株オリエタルコンサルタンツ 名古屋工業大学 Faculty of Engineering, University of Bristol
	71	既存高速道路の整備がもたらしてきたマクロ経済効果の推計	○上田 大貴 片岡 将 柳川 篤志 川端 祐一郎 藤井 聡 京都大学 京都大学 中央復建コンサルタンツ株 京都大学 京都大学
	72	冬期気象条件が交通時間価値に及ぼす影響	伊藤 潤 ○酒井 教行 佐野 可寸志 嶋山 紀一郎 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学

14. 交通容量・サービス水準 座長:赤羽 弘和(千葉工業大学) 副座長:那 健(株高速道路総合技術研究所)			
	99	高速道路における追従状態を考慮した交通流のサービスの質に関する評価指標の検討	○近田 博之 中村 英樹 中日本ハイウェイ・エンジニアリング 名古屋株 名古屋大学
	100	Expressway Quality of Service Based on Free Speed Estimates	○Edwin AKANDWANAH Hideki NAKAMURA Nagoya University Nagoya University
	101	車頭時間のばらつきに着目した長期的な交通容量の減速要因の分析に関する研究	○池谷 風馬 田中 伸治 中村 文彦 有吉 亮 三浦 詩乃 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学
	102	複数交差点の実測に基づく反転インターチェンジ(DDI)の交通容量評価	○宮西 開 田中 伸治 中村 文彦 有吉 亮 三浦 詩乃 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学

## デモンストレーション & 自主研究活動報告〈デモ有り〉表示のある発表および自主研究活動のパネル展示を行います。 於)デモ会場(3階132教室)

16.00	11	タスクの程度を考慮した自転車利用者の生体反応を用いたストレス計測に関する研究	○立野 勝真 吉田 長裕 大阪市立大学 大阪市立大学
16.23	12	自転車のGPSデータを用いた自転車通行経路の効率的な把握手法に関する研究	○高橋 歩夢 掛井 孝俊 小林 寛 尾崎 悠太 国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所
16.46	13	名古屋市における安全で快適な自転車通行空間整備の検討 (実務論文)	○佐藤 慶和 嶋田 喜昭 鈴木 弘司 名古屋市役所 大同大学 名古屋工業大学
17.09	14	安全な自転車通行空間の整備とその効果に関する研究	○出口 隼斗 小嶋 文 久保田 尚 セントラルコンサルタンツ株 埼玉大学 埼玉大学
17.32			

	42	広域ミクロ交通流シミュレーションのための自動車OD交通量推計手法に関する研究	○内田 秀平 田部 優也 永井 徹 長田 哲平 大森 宜暎 宇都宮大学 宇都宮大学 株日立製作所 宇都宮大学 宇都宮大学
	43	ゾーン集中交通量を用いた時間帯別OD交通量逆推定法	○牛場 高志 飯田 恭敬 株ニュージエック 京都大学
	44	ニューラルネットワークを用いた巨視的渋滞予測モデルの高度化と汎用性の検証	○柴田 文和 清水 英聖 渡辺 柚佳子 長谷川 秀明 (公財)日本道路交通情報センター (公財)日本道路交通情報センター (公財)日本道路交通情報センター (公財)日本道路交通情報センター
	45	幹線道路依存度を考慮した細街路交通量推計手法の開発	○小林 貴 島川 陽一 鹿島 茂 加藤 正康 元:中央大学 ナレジオ工業高等専門学校 元:中央大学 中央大学

	73	ハート図と円周分布のパラメータを用いた駅周辺道路網の類型化	○長崎 渡大 中西 航 朝倉 康夫 東京工業大学 東京工業大学 東京工業大学
	74	歩行者広場を新たに創出した駅前広場再整備事例に関する研究 (実務論文)	○高橋 舞 中村 文彦 株日建設シビル 横浜国立大学
	75	レベル4の自動運転車導入における乗降環境を考慮した街路空間に関する研究	○岡野 舜 高山 宇宙 三浦 清洋 森本 章倫 早稲田大学(現:株三菱地所設計) 早稲田大学 (公社)日本交通計画協会 交通計画研究所 早稲田大学
	76	信号交差点密度を考慮した道路事業便益の算出手法	○柿元 祐史 中村 英樹 名古屋大学 名古屋大学

	103	A Traffic Simulation Model for Signalized Arterials Considering Downstream Influence	○Hong ZHU Hideki NAKAMURA Nagoya University Nagoya University
	104	灯器位置の異なる信号交差点の性能比較分析	○松田 啓輔 柳原 正実 小根山 裕之 日本工営株 首都大学東京 首都大学東京
	105	固有ベクトル中心性指標による道路ネットワーク評価の検証	○安藤 宏恵 Michael G. H. Bell 倉内 文孝 岐阜大学 The University of Sydney Business School 岐阜大学
	106	渋滞巻き込まれ時間が下流ボトルネックの渋滞発生時交通量に与える影響分析	○吉岡 慶祐 下川 澄雄 後藤 誠 鎌田 泰典 外山 敬祐 日本大学 日本大学 東日本高速道路株 東日本高速道路株 東日本高速道路株

第39回交通工学研究発表会 第2日目【2019年8月7日(水)】プログラム

発表11分、質疑11分 ○は発表者

第1会場(3階131教室)

第2会場(3階134教室)

第3会場(4階141教室)

第4会場(4階144教室)

Table with 3 columns: Session ID, Title, and Author/Institution. Includes sessions 3, 9.30, 9.53, 10.16, 10.39, 11.02, 11.10, 11.33, 11.56, 12.19, 12.42.

Table with 3 columns: Session ID, Title, and Author/Institution. Includes sessions 7, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53.

Table with 3 columns: Session ID, Title, and Author/Institution. Includes sessions 11, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84.

Table with 3 columns: Session ID, Title, and Author/Institution. Includes sessions 15, 107, 108, 109, 110, 111, 112, 113, 114.

Table with 3 columns: Session ID, Title, and Author/Institution. Includes sessions 4, 13.30, 13.53, 14.16, 14.39, 15.02.

Table with 3 columns: Session ID, Title, and Author/Institution. Includes sessions 8, 54, 55, 56, 57.

Table with 3 columns: Session ID, Title, and Author/Institution. Includes sessions 12, 85, 86, 87.

Table with 3 columns: Session ID, Title, and Author/Institution. Includes sessions 16, 115, 116, 117, 118.

デモンストレーション & 自主研究活動報告<デモ有り>表示のある発表および自主研究活動のパネル展示を行います。 於)デモ会場(3階132教室)

Table with 3 columns: Session ID, Title, and Author/Institution. Includes sessions 15.30, 15.53, 16.16, 16.39, 17.02, 17.25.

Table with 3 columns: Session ID, Title, and Author/Institution. Includes sessions 58, 59, 60, 61, 62.

Table with 3 columns: Session ID, Title, and Author/Institution. Includes sessions 88, 89, 90, 91, 92.

Table with 3 columns: Session ID, Title, and Author/Institution. Includes sessions 119, 120, 121, 122, 123.